

Ⅱ 議 案 書

議案第 1 号 令和元年度事業報告について

以下のとおり、令和元年度事業報告（案）について、決議を求める。

令和元年度事業報告（案）

令和元年度、一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会（以下、「協会」と言う。）の役員、職員及び各部会委員等は、定款及び諸規則等に従い適正に協会の運営管理を行うとともに、令和元年度事業計画に基づき、第四期将来ビジョンの推進、調査研究、人材育成、技術の普及啓発、対外活動及び国際協力等に係る事業を実施した。

令和元年度は協会の名称を一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会と変更し、協会の果たすべき役割として循環型社会の構築に加え、自然共生社会、低炭素社会の実現に向けて大きな一歩を踏み出したところである。

また、気候変動に伴う自然災害の頻発により災害廃棄物の問題が大きな社会問題となっており、環境省からの依頼に基づき協会として D-Weste-Net の一員として、広範な被害をもたらした台風 19 号の被災地である中部、関東及び東北の 5 県に多数の技術者を派遣した。

人口減少が継続するなど社会経済状況が大きく変化していくなかで、自然災害が頻発し、さらには今般の新型コロナウイルス感染症など未知の分野に直面する複雑な環境の下、協会としても、いかなる形で社会に貢献していくかを考える上で、重要な時期であると考えられる。

以下、令和元年度事業の実施状況について報告する。

1. 協会の運営管理

(1) 会員の動向

正会員	(株)四電技術コンサルタント 入会（令和元年 12 月 11 日付け）
名誉会員	第 8 回定時総会において西川光善氏が名誉会員に推挙された。 令和 2 年 3 月 31 日現在、名誉会員は、杉戸大作氏、青山俊介氏、三戸完五氏、辻喜礦氏、井出宏氏、浦邊真郎氏及び西川光善氏の 7 名である。

(2) 会 議

① 総 会	第 8 回 定時総会
-------	------------

日 時 令和元年 5 月 29 日 15:00～16:00
場 所 東京グランドホテル 4 階「芙蓉の間」
議 案 議案第 1 号 平成 30 年度事業報告について
議案第 2 号 平成 30 年度決算及び監査報告について
議案第 3 号 役員を選任について
議案第 4 号 名誉会員の推薦について
議案第 5 号 定款の改正について

報 告 報告事項第 1 号 令和元年度事業計画について
報告事項第 2 号 令和元年度予算について

会長表彰 功労賞 2 名、 功績賞 1 チーム 24 名

- ② 監事監査 平成 31 年 4 月 12 日 11:00～13:00 協会会議室
監査結果については、第 8 回定時総会において監事が監査報告書として報告した。

③ 理事会

- a. 第 15 回理事会 平成 31 年 4 月 24 日 16:00～17:00 協会会議室

【審議事項】

- 1 総会について
 - 1) 第 8 回定時総会議案及び資料
 - 2) 社員総会招集の決議について
- 2 定時総会及び講演会・懇親会の進行等について
 - 1) タイムスケジュール等
 - 2) 講演会・懇親会招待者について
- 3 平成 30 年度表彰審査結果について
- 4 その他
 - 1) 会報 82 号について
 - 2) 廃棄物コンサルタントの品質向上について
 - 3) 年間スケジュールについて

- b. 臨時理事会 令和元年 5 月 29 日 16:05～16:20
東京グランドホテル 4 階「芙蓉の間」

【審議事項】

- 1 会長・副会長・専務理事及び常任理事の選定について
- 2 代表理事及び業務執行理事の業務分担について
- 3 委員会委員の指名について
- 4 会長の職務代行者の順序について
- 5 廃棄物資源循環学会誌への広告掲載について

- c. 第 16 回理事会 令和 2 年 2 月 13 日 16:00～17:00 協会会議室

【審議事項】

- 1 令和 2 年度における会費区分について
- 2 令和 2 年度事業計画（案）及び令和 2 年度予算（案）について
- 3 会報 83 号について

- 4 令和元年度「令和元年台風19号」D-Waste-Net 派遣
- 5 災害廃棄物に関する廃棄物コンサルタントのあり方（報告書）
- 6 持続コン協 品質向上に関するアンケート調査結果
- 7 令和2年度年間スケジュールについて

④ 常任理事会

- a. 第1回 令和元年 7月17日 15:00～17:00 協会会議室
- b. 第2回 令和元年 9月18日 12:00～13:00
TKP 神田駅前ビジネスセンター5F 会議室
- c. 第3回 令和2年 2月13日 15:00～16:00 協会会議室

⑤ 部会・委員会

- a. 総務部会 5回開催 平成31年4月16日、令和元年6月18日、9月5日、12月10日、令和2年2月4日
- b. 対外活動部会 2回開催 令和元年9月9日、12月5日
- c. 技術部会 4回開催 平成31年4月10日、令和元6月19日、9月2日、11月29日
- d. 国際部会 1回開催 令和2年2月5日
- e. 中期行動計画2020推進委員会 3回開催 令和元年7月17日、9月18日、令和2年2月13日
- f. ダイバーシティ推進委員会 2回開催 令和元年6月18日、9月18日
- g. 表彰審査会 1回開催 平成30年4月24日

(3) 人 事

① 人事異動

平成31年4月1日	職員採用	参与	藤塚哲朗
令和元年5月29日	退任	理事	宇佐見貞彦、寺井和弘、小棚木 修 大島高志
	就任	理事	松本良二、中村 浩、福岡智久 西山勝栄、藤塚哲朗

(4) 表 彰

① 会長表彰

第8回定時総会（令和元年5月29日）において、以下の方々に会長から賞状と記念品を贈呈した。

功労賞	前会長 西川光善、前専務理事 加藤修平
功績賞	平成30年7月豪雨に係る廃コン協 D. Waste-Net チームメンバー 24名
	木村 浩和 (株)ウエスコ
	伊藤 聡 (株)エイト日本技術開発
	籠谷 純一 (株)エイト日本技術開発
	勝見 慧 (株)エイト日本技術開発

伊達 誠	(株)エイト日本技術開発
千葉 俊彦	(株)エックス都市研究所
森 智志	(株)NJS
渡邊 仁史	(株)NJS
花嶋 孝生	応用地質(株)
五十嵐知宏	(株)建設技術研究所
池田 勇太	(株)建設技術研究所
伊藤 明	(株)建設技術研究所
北村 亮輔	(株)建設技術研究所
土谷 賢司	中外テクノス(株)
大田 実果	(株)東和テクノロジー
木村 浩人	(株)東和テクノロジー
佐伯 敬	(株)東和テクノロジー
佐々木未穂	(株)東和テクノロジー
宇佐見貞彦	パシフィックコンサルタンツ(株) (前 八千代エンジニアリング(株))
川添 優	パシフィックコンサルタンツ(株)
山口 侑也	パシフィックコンサルタンツ(株)
入佐孝一	八千代エンジニアリング(株)
後藤久美子	八千代エンジニアリング(株)
松本 良二	八千代エンジニアリング(株)

(会社名 五十音順)

② 環境大臣表彰

協会が推薦した中石一弘氏（株）エックス都市研究所）が、「令和元年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰（廃棄物・浄化槽研究開発功労者）」を受賞した。表彰式は、令和元年10月29日に熊本県熊本市で開催された第63回生活と環境全国大会で執り行われた。また後日、会長より協会副賞を授与した。

2. 第4期将来ビジョンの推進



中期行動計画2020推進委員会を3回開催し、「年次行動計画2019」を策定するとともに、「年次行動計画2019」の進捗状況を点検した。

また、5月には、正会員を対象に実施した「協会定款改訂に関するアンケート」の結果に基づき第8回定時総会において定款の改訂を行った。

3. 調査研究の推進



(1) 廃棄物・資源循環マネジメント技術に関する調査研究

- ① 人口減少社会における廃棄物処理施設のあり方専門委員会(平成 27 年度～30 年度)
(主査:中石一弘 (株)エックス都市研究所)

委員会活動を終了し、報告書の作成に取り組んでいる。

- ② 災害廃棄物処理に関する廃棄物コンサルタントのあり方専門委員会
(平成 28 年度～30 年度) (主査: 眞鍋和俊 応用地質(株))

委員会活動を終了し、令和 2 年 3 月に報告書を発刊し、協会ホームページに掲載した。

- ③ 最終処分場標準発注仕様書等作成専門委員会(平成 29 年度～31 年度)
(主査:宇佐見貞彦(パシフィックコンサルタンツ(株)))

NPO 最終処分場技術システム研究協会との共同研究で実施し、令和 2 年 3 月に双方の協会ホームページに掲載した。

- ④ 廃棄物コンサルタント業務の標準的内容と積算資料(案)改訂専門委員会
(平成 30 年度～令和元年度) (主査:宇佐見貞彦(パシフィックコンサルタンツ(株)))

「廃棄物コンサルタント業務の標準的内容と積算資料(案)」は平成 23 年 3 月に初版を公表し、平成 24 年 9 月には改訂版を公表した。近年、廃棄物処理施設の建設・維持管理に、PFI 又はDBOの事業形態で発注されることが多くなっており、このような事業形態における廃棄物コンサルタント業務については、現に公表されている「廃棄物コンサルタント業務の標準的内容と積算資料(案)」は必ずしも実態を反映していないと指摘されている。このため、近年の施設整備に係る発注実態を勘案して、「廃棄物コンサルタント業務の標準的内容と積算資料(案)」の再改定を実施。令和 2 年 3 月現在ほぼ完成し、発刊に向けて確認作業中。

(2) 廃棄物分野における情報技術利活用専門委員会(平成 30 年度～令和元年度)

(主査:入佐孝一(八千代エンジニアリング(株)))

近年のIoTやAI等の情報関連技術の目覚ましい技術革新を踏まえ、情報関連技術の廃棄物処理施設の建設・運転・維持管理におけるハード面での利活用の動向とともにコンサルタント業務としての発注支援における情報関連技術の利活用の可能性や費用対効果等を検討している。令和元年度は先進事例の視察として、日立造船(株)を訪問し意見交換等を実施した。

(3) 廃棄物コンサルタント業の発展・改善に関する調査研究

- ① 廃棄物コンサルタント業務の品質向上に関する検討委員会その 2(平成 28 年度～)
(主査:西山勝栄 技術部会副会長 (株)建設技術研究所)

「廃棄物コンサルタント業務の品質向上に関する検討委員会その 2」は、最終処分場に関するコンサルタント業務について基本構想、基本計画・基本設計業務、詳細設計の各業務段階において留意すべき品質確認項目の抽出・整理を行い、品質チェックポ

イントシートを作成することを目指して検討を進めている。平成29年度には、「廃棄物コンサルタントの品質向上に向けて（最終処分場計画・設計業務編）」を報告書としてとりまとめた。現在、引き続き、「最終処分場の発注・契約事務支援（調達支援）業務編（設計・施工一括、総合評価落札方式）」について検討を進めている。

また、作成した報告書等が実際に会員各企業においてどの程度活用されているのかアンケート調査を行った。

（3）環境省受託事業

① 令和元年度「令和元年台風第19号」災害廃棄物処理支援業務(その2)

事業期間 令和元年10月15日～令和2年2月14日

契約金額 1,654万4,000円（消費税込み）

業務概要 令和元年台風第19号に係る災害廃棄物処理支援のために、約3か月間、長野県、宮城県、福島県、栃木県及び茨城県の5県に会員会社の技術者職員36名を派遣した。

② 令和元年度放射性物質により汚染された廃棄物の実態調査及び最終処分場の管理に関する技術的検討業務

事業期間 令和元年12月17日～令和2年3月27日

契約金額 1,265万円（消費税込み）

業務概要 放射性物質により汚染された特定一般廃棄物及び特定産業廃棄物の最終処分場について、その実態を把握し技術的課題や改善点等を抽出し、長期的な管理手法を検討する。

なお、協会は、この業務を円滑に実施するために、業務に参加する会員会社の技術者で構成する「令和元年度環境省受注特定一産廃最終処分場調査検討委員会」（主査：古田秀雄 ㈱建設技術研究所）を設置した。

4. 人材育成、技術の普及啓発の推進



（1）技術士試験対策講習会

開催日 平成31年4月10日 14:00～18:00

場 所 協会会議室

受講者 16名

プログラム

挨拶 技術部副部長 岩下信一（応用地質㈱）

講義 ～総論～

技術部会委員

鉤 佐登史（中日本建設コンサルタント㈱）

講 義 ～試験対策のポイント～

技術部会委員 前田伊端実（応用地質㈱）
 合格者体験談① 平成 30 年度技術士試験合格者
 岡田太朗（八千代エンジニアリング㈱）
 合格者体験談② 平成 30 年度技術士試験合格者
 高橋麻由（八千代エンジニアリング㈱）

(2) 技術者研修講座

開催日 令和元年 8 月 27 日～29 日
 場 所 協会会議室
 受講者 6 正会員会社から 13 名
 プログラム (次表のとおり)

日程	時 間	講 義 内 容	講 師	備 考
8 月 27 日	10：00～10：15	開 講	森 孝信	技術部会長
	10：15～11：15	コンサルタント業務について	森 孝信	〃
	11：20～12：50	廃棄物管理計画	鈴木 修	エックス都市研究所
	12：50～13：50	(昼食・休憩)		
	13：50～15：20	生活排水管理	森 智志	N J S
	15：20～16：50	最終処分	古田秀雄	建設技術研究所
	17：00～17：30	会長講話	日高 彰	
	18：00～20：00	【意見交換会】	受講生と講師	
8 月 28 日	9：30～11：00	中間処理	入佐孝一	八千代エンジニアリング
	11：05～12：35	収集運搬	中山伸吾	エイト日本技術開発
	12：35～13：20	(昼食・休憩)		
	13：20～17：30	施設見学会(朝日環境センター)	講習会担当者 と講師	
8 月 29 日	10：00～11：15	災害廃棄物処理対応の在り方	眞鍋和俊	応用地質
	11：20～12：35	廃棄物の測定分析	長谷川 亮	環境管理センター
	12：35～13：15	(昼食・休憩)		
	13：15～14：45	廃棄物処理の現状と法制度	齊藤 眞	エックス都市研究所
	14：45～15：45	海外コンサルタント業務について	長谷川貴之	パシフィックコンサルタンツ
	15：50～16：50	研修のまとめ	森 智志	N J S
	16：50～17：00	閉 講 (修了証授与)	西山勝栄	技術部会副部会長

(3) 施設見学会

開催日 令和元年 7 月 12 日
 参加者 18 名 (技術部会委員及び事務局を含む)
 視察先 クリーンパーク折居及びグリーンヒル三郷山

城南衛生管理組合 熱回収施設及び最終処分場

(4) 技術セミナー・技術発表会

開催日 令和元年 11 月 13 日 13:10～17:00

場 所 エッサム神田 1 号館 301 会議室

参加者 35 名 (技術部会委員及び事務局を含む)

プログラム

内容

第 1 部 技術セミナー テーマ:「食品ロスと SDGs」

基調講演 「家庭の食品ロスと消費者行動」

東京農業大学 国際食料情報学部食料環境経済学科 助教 野々村 真希

事例紹介 「食品ロスの取り組みについて」

エナジークラフト有限公司 代表取締役 高橋 一伸

第 2 部 技術発表会

論文 1 し尿等下水道投入検討における今後の課題研究

庄司 有理 (株NJS)

論文 2 青森県境不法投棄事案における地下水浄化対策

垣野 泰斗 (株建設技術研究所)

論文 3 A 市ごみ処理場の運営状況及び特徴的取組みに関する事例紹介

杉山 智春 八千代エンジニアリング(株)

【専門委員会報告】

西山勝栄 技術部会副部長 (株建設技術研究所) が次の 5 つの専門委員会の活動状況を報告した。

- ・ 人口減少社会における廃棄物処理施設のあり方検討専門委員会
- ・ 災害廃棄物処理に関する廃棄物コンサルタントのあり方専門委員会
- ・ 最終処分場標準仕様書等作成専門委員会
- ・ 廃棄物コンサルタント業務の標準的内容と積算資料 (案) 改訂検討専門委員会
- ・ 廃棄物分野における情報技術の利活用検討専門委員会

【優秀発表表彰】

優秀賞 庄司有理 (株NJS)

(5) 地方自治体職員のための廃棄物処理施設整備セミナー

(環境省九州地方環境事務所との共催)

開催日 令和元年 10 月 17 日 13:30～16:30

場 所 TKP カンファレンスシティ博多 TKP ホール

参加者 45 市町村・事務組会 64 名

プログラム

情報提供

「循環型社会形成推進交付金の活用について」

環境省九州地方環境事務所 資源循環課

課長補佐

大淵 鉄也

講義

「廃棄物処理施設整備事業のプロセスの概要及びし尿処理施設整備計画の策定における留意点」

(一社) 持続可能社会推進コンサルタント協会

講師：技術部会委員

森 智志

「廃棄物中間処理施設整備計画の策定における留意点」

(一社) 持続可能社会推進コンサルタント協会

講師：技術部会委員

入佐 孝一

5. 対外活動の推進



(1) 「令和元年度版 廃棄物コンサルタントの活用について」の作成

令和元年 10 月に、旧版のパンフレットを改訂し、「令和元年度版 廃棄物コンサルタントの活用について」を作成した (2500 部)。本パンフレットについては、全国の地方自治体や環境省への郵送配布のほか、全国都市清掃会議の行事等で配布している。

パンフレットの概要は次のとおりである。

- ・ 廃棄物コンサルタントの技術力による選定
- ・ 発注方式の選定手順 (案)
- ・ 品質の確保と向上
- ・ 最近の日本廃棄物コンサルタント協会の活動

(2) 環境省との政策パートナーとして役割強化

① 環境省意見交換会

令和 2 年 3 月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス等の影響により、非開催となった。

環境省との事前調整の段階で、当協会の定款が変更され廃棄物分野のみならず、自然共生・低炭素の分野にも拡大されたことを鑑み、それに関連する環境省の各部局にも働きかけをし、最新のトピックを含めた意見交換会の開催を予定していた。

② D. Waste- Net

令和元年度「令和元年台風第19号」災害廃棄物処理支援業務(その2)により令和元年10月17日～12月13日までの約3か月間、長野県、宮城県、福島県、栃木県及び茨城県の5県に会員会社の技術者36名を派遣した。

(3) 地方自治体アドバイザーとしての展開

① 全国都市清掃会議総会・評議員会での広報

全国都市清掃会議の令和元年度総会・評議員会・研究/事例発表会、令和元年5月23日川崎市、令和元年10月24日四日市市及び令和2年1月22日豊橋市)で展示コーナーを設置し、ポスター及び「令和元年度版廃棄物コンサルタントの活用について」等の資料を展示・配布した。

② 自治体職員のための廃棄物処理施設整備セミナーにおける相談コーナーの設置

令和元年10月17日に九州地方環境事務所との共催で開催した「自治体職員のための廃棄物処理施設整備セミナー」で相談コーナーを設置し、事前に申し込みのあった10地方自治体・事務組合からの相談に対応した。

(4) 関係機関、関係団体との連携

① 日本廃棄物団体連合会の行事への参加

日本廃棄物団体連合会の総会、幹事会、講演会及び賀詞交歓会等に、協会役員等が参加した。

② 関係機関等への協力及び委員派遣

○環境省災害廃棄物対策推進検討会 地域間協調ワーキンググループ

委員 宇佐見貞彦 (パシフィックコンサルタンツ(株))

○日本廃棄物団体連合会

監事 大島高志 前専務理事、 藤塚哲朗 専務理事

○(一社)廃棄物資源循環学会

評議員 日高 彰 会長 (パシフィックコンサルタンツ(株))

理事 森 孝信 副会長 (株)エイト日本技術開発)

理事 豊口敏之 常任理事 (株)環境管理センター)

○(一社)廃棄物処理施設技術管理協会環境技術会誌編集委員会

委員 森 智志 技術部会委員 (株)N J S)

○(公財)産業廃棄物処理事業振興財団

評議員 藤塚哲朗 専務理事

原状回復特定事業に関する調査会 委員 藤塚哲朗 専務理事

(5) 大学との連携と人材確保

東洋大学理工学部都市環境デザイン学科村野昭人教授に協力を頂き、廃棄物コンサルタントの業務紹介と協会活動について説明した。

開催日 令和2年1月7日 17:15～18:00

場 所 東洋大学 川越キャンパス

参加者 55名(学部3年生53名、学部4年生2名)

プログラム

「建設コンサルタント・廃棄物コンサルタントについて」

対外活動部会長 松本良二（八千代エンジニアリング㈱）

「(一社) 持続可能社会推進コンサルタント協会の取り組み」

対外活動部会副会長 福岡知久（日本工営㈱）

「東洋大学 OB の紹介」（就職活動、入社までの経緯等）

関口諒太、玉置遼（八千代エンジニアリング㈱）

「廃棄物コンサルタント業務における GIS 活用例」

玉置遼（八千代エンジニアリング㈱）

6. 国際協力の推進



(1) 海外プロジェクトセミナー（OECC/SuSPCA第8回合同セミナー）

「海洋プラスチックごみ問題と廃棄物管理」をテーマとして、(一社)海外環境協力センター（OECC）との共催で、第9回合同セミナーを令和2年2月5日に開催した。

開催日 令和2年2月5日 13:30～16:45

場 所 エッサム神田ホール2号館601

参加者 108名

プログラム

第1部 海洋プラスチックごみ問題の状況

講 演 「海洋プラスチックごみを巡る国際的動向と国内取組」

環境省水・大気環境水環境課長補佐 伊藤史雄

講 演 「海洋プラスチックごみにかかる国際協調について—ASEAN 諸国への協力とマイクロプラスチック調査方法の調和化」

いであ㈱ 特任理事海外事業部技師長 吉田和広

講 演 「海洋プラスチックごみ問題の諸相とテクノロジーの活用」

株式会社/一般社団法人ピリカ研究員 三輪芳和

第2部 プラスチックごみ削減に向けた取組と国際協調

・プラスチックごみ削減に向けた国内政策

環境省環境・再生資源循環局リサイクル推進室長 富安 健一

・プラスチックごみ削減にかかる欧米等の取組動向

公益財団法人地球環境戦略研究機関プログラムマネージャー

栗生木 千佳

・プラスチックごみ削減にかかるプラスチック素材・製品業界の取組

一般社団法人日本化学工業会化学品管理部部長 樋口 俊彦

・質疑応答

第3部 リレートーク

(2) JICA 集団研修への講師派遣

(公財)ひょうご環境創造協会が国際協力機構 (JICA) 受託事業として実施している JICA 集団研修「廃棄物管理技術<基本、技術編 B>」で、令和元年 11 月 28 日～11 月 29 日の 2 日間、JICA 東京において、国際航業(株)、(株)エックス都市研究所及び八千代エンジニアリング(株)の 3 正会員会社の職員が講師として講義を行った。

(3) 関係団体、関係省庁との連携

(一社)廃棄物資源循環学会等から国際会議等に係る情報を収集し、それらの情報を会員各社に提供した。

(4) 海外案件に関する受注高調査

国内受注高調査に合わせて、正会員各社を対象にして平成 30 年度の海外案件に関する受注高調査を平成 31 年 3 月に実施し、その集計結果を会報「廃コン協」第 82 号 (令和元年 10 月発行) の法人化 25 周年記念号に掲載した。また、令和 2 年度年度の海外案件に関する受注貴調査については、令和 2 年 3 月 2 日付けで正会員各社に調査票を送付した。

7. 協会運営等に係る事業



(1) 法人化 25 周年記念行事の実施

① 歴代会長等による座談会の実施

令和元年 8 月 1 日に日高彰現会長、浦邊真郎元会長、井出宏元会長、森孝信現副会長加藤秀平元専務理事、藤塚哲朗専務理事の方々による座談会が行われた。司会進行は豊口敏之総務部会長が務めた。

② 記念誌の発行

会報誌 82 号を法人化 25 周年記念誌と位置づけ、令和元年 10 月に発行。環境事務次官の鎌形浩史様をはじめ、多くの方々からご祝辞をいただいた。

(2) 廃棄物コンサルタント業務の発展・改善に関する活動 (受注高調査)

正会員各社を対象に平成 30 年度の国内受注高及び海外受注高についてアンケート調査を行い、その集計結果を、会報「廃コン協」第 82 号 (令和元年 10 月発行) の法人化 25 周年記念号に掲載した。なお、平成 31 年度受注高調査については、令和 2 年 3 月 2 日付けで正会員各社に調査票を送付した。

(3) 会報その他印刷物の刊行、広報活動

① 会報の発行

令和元年度においては、令和元年 10 月 (第 82 号) 法人化 25 周年記念号及び令和 2 年 3 月 (第 83 号) を各 400 部印刷し、会員、47 都道府県、112 市、環境省本省及び地方環

境事務所、関係団体等に送付した。

② 会員名簿の発行

令和元年7月に2019年版会員名簿を発行し（印刷部数1,900部）、関係機関、全国の地方自治体（47都道府県、市・23区807、組合等680の合計約1,500か所）及び協会会員等に送付した。

③ リーフレット「協会のご案内」及びポスターの印刷

令和元年7月に、協会のリーフレットである「協会のご案内」を発行（印刷部数1,900部）するとともに協会ポスターを作成し、改印・関係機関に配布した。

④ ホームページの管理

協会名の変更に伴いホームページを更新するとともに、協会のイベント等の開催案内を掲載し、協会の活動状況を周知した。

(4) ダイバーシティ推進委員会

SDGs 5 (Gender Equality) と密接に関係することから、本委員会活動の一環としてSDGs及び倫理関連研修会を開催した。

(5) 倫理の向上等に関する活動

① 倫理関連問題発生時の調査

協会の倫理規定では、協会会員の事業活動において、当協会の倫理規則に抵触するような実態が発生した場合、倫理委員会が必要な調査を行い、検討結果を会長に報告することになっている。

令和元年度には、このような事案はなく、倫理委員会は開催されなかった。